

# 寄せられる「声」、いま求められる支援策

いま様々な支援策が進められている「新型コロナ対策」。しかし、売り上げ減少で苦しんでいる自営業者や感染の不安を持ちながら働いている介護現場の声にこたえる対策になっっているのでしょうか？そこで、私たちは、各分野の方々から「現場の状況と要望」を寄せていただきました。それを紹介します。

## 感染の不安を抱え、 続ける「介護サービス」

「病院に一人でいけない方は、コロナが疑われても、介護者も一緒に受診することになっています。感染の不安を抱えながらサービス提供しなければなりません」（ヘルパー）。「一人ごらしの利用者さんが発熱したら、今後の道筋をつけるために職員が訪問する場がある。しかし、防護服やマスクなどの衛生材料がありません」（ケアマ

ナーシヤ）。「様々な課題が出ていて、しっかりとしたサービス提供になっているか、また、法令順守の面で『これで大丈夫なのか？』という不安を抱えている。実地指導を行う保険者として釧路市からの『発信・援助』が必要です」（事業所）



### 限界超える事業者へ 独自支援策を

休業要請の延長に落胆と困惑の声が広がっています。「もうギリギリの状態」「これ以上休業が続いたらもたない」「再開しても客が来るのだろうか」「北海道独自の緊急事態宣言から数えると2ヶ月半、業者は限界を超えています。いつ倒産の話がでてもおかしくありません」。

この危機に対して国や自治体への要望も噴出していきます。「売上が減少している業者を対象とした釧路市独自の支援金の創設を」「国や自治体には家賃等の固定費の補助を強く求めます」「パソコンやスマホの申請が前提となっている『持続化給付金』は、書類による申請も認めてほしい」の声をいただきます。



### 労働者への直接 給付と生活保障

パートなどの非正規で働く方たちは、このコロナ禍で売り上げが激減した会社から「休業してください。6割出します」と言われた。しかし、母子家庭で6割補償では生活ができません。また、持病の喘息で咳をすると「コロナの疑いで会社から休業命令を受けたが、特別休暇ではなく、年休を取得するように」と言われました。弱い立場の人びとの生活保障を急がなければなりません。いま、労働者支援の独自給付が必要です。それも煩雑な手続き無しで生活困窮している労働者が普通の生活を一刻も早く取り戻すための支援が必要です。



5・16コロナ緊急労働相談



# 全市民、子育て世代、学生への支援の拡大求める

新型コロナウイルスに対する交付金の実施計画が発表されましたが、市民や子育て家庭への支援金の給付を一切盛り込まないなど、問題があります。日本共産党議員団は、5月20日の議員協議会で、計画に新たに盛り込むべき事業を提案、その実施を強く求めました。

## 国の交付金「更なる増額を」

### 実施計画の主な中身

#### ●若年者等雇用事業

1100万円

アルバイトの減少した学生や内定取り消された新卒者を市が4か月雇用

#### ●病院事業会計繰出・補助

4億200万円

市立病院の経費や職員用のマスク、消毒液などの感染予防物品の購入

#### ●衛生用品確保事業

630万円

市民が利用する公共施設に設置する消毒液の購入



## 日本共産党の提案

- ①困っている家庭がマスク・消毒液を買い取る「購入券」の仕組みの構築
- ②家事用上下水道料金の基本料金免除
- ③介護従事者への特別手当の支給
- ④介護施設への特別支援金の創設（感染防止、減収補填のために）
- ⑤学校でソーシャルディスタンスを確保するための教室増設、臨時教員採用
- ⑥学校給食費の1学期分の免除
- ⑦失業・内定取り消しの人を市の臨時職員として雇用
- ⑧釧路公立大学の授業料の減額
- ⑨事業者に対する家賃補助
- ⑩国の困窮学生対策の対象とならない学生への一律5万円の給付
- ⑪国保の傷病手当の対象を、労働者のみから自営業者、農民に拡大

## 全市民、子育て世代に「こころ温かい支援を」

白糠町、標茶町、厚岸町、鶴居村は、全住民に商品券を配布、釧路町も子どもひとりにつき3万円ずつを配ります。「なぜ、市ではこうした支援がないのか」多くの方が感じています。事業

用の上下水道料金を免除するのに、家事用は支援は無いです。幅広く市民生活を守るため、家事用の上下水道料金の免除と、学校給食費の免除を強く求めました。

## 深刻な介護現場を守れ

「医療と介護は地続きであり、ともに命を扱う仕事」。その介護の

職場が、大変な危機に直面しています。デイサービスは2割も利用者が減り、利用者や家族の状態も悪化しています。クラスターを発生させず、介護現場を守り抜くために、市独自の給付金を創設するよう求めました。あわせて、介護職員に対する特別手当を設けるよう提案しました。

## 市長のリーダーシップは？

事業者、学生、失業者などへの様々な支援を求め、学校の感染防止のために1クラスの定員を減らすことを提案しました。

市長の答弁は「国の動向を注視したい」と、国の「支援」待ち。全市民、全ての子育て世帯向けの支援には、背を向けました。

しかし、その中でも、「持続化給付金の申請については市もサポートしたい」「学校によっては空き教室を普通教室に転用することも考えたい」など、提案が実ったものもありました。